

自民党をかえる。日本が変わる。

42歳
柏市生まれ

松本いずみが実現したいこと



自民党公認

まつもと
松本
いずみ

1 「改革のその先」へ

- ・未来の日本経済を支える最先端産業への投資を大幅に拡大、徹底的な規制緩和を
- ・意欲ある個人や企業を後押しし、現場から次々とイノベーションが起こる仕組みづくり
- ・国と地域が一体となった農林水産品の海外輸出体制の抜本的強化を図る
- ・千葉北西連絡道路の早期実現に向けて、道路計画の具体化に向けた議論を進める

2 「日本を守る」土台をつくる

- ・航空機・宇宙・サイバーを中心とした防衛能力の向上に加え、わが国周辺のミサイル能力の増強に対し、ミサイル防衛網の質・量を強化するとともに、相手の攻撃を抑止する反撃能力のためのスタンド・オフ防衛能力の向上
- ・部隊運用における日米間の連携を更に強化し、日米同盟の抑止力・対処力を強化。共同訓練、装備・技術協力を含む二国間・多国間の防衛協力・交流を推進するとともに地域の安全と安定を一層確保するための取り組み
- ・アジアと欧米の橋渡し役を目指し、経済・通商から安全保障まで議論できる枠組み

3 「開かれた思いやりのある保守」へ

- ・全ての人に教育を受ける機会を。生活費を含む必要額をカバーする奨学金制度を創設
- ・共同親権制度の施行も見据え、離婚後の子どもや親を全力でサポートする体制づくり
- ・定年制や再雇用に伴う賃金減少など、65歳以上の方の就労・社会参画を阻む様々な制度的・文化的な障壁を無くす
- ・女性が活躍しやすい柔軟で多様な働き方を更に後押しし、もっと暮らしやすい日本へ

4 「本気の改革政党、自民党」へ

- ・政策活動費及び調査研究広報滞在費（旧文書通信交通滞在費）の翌年度の用途公開義務付け、中立的な第三者が政治資金の監視を行う仕組みを早急につくり、政治資金の徹底的な透明化を
- ・公職選挙法を改正し、選挙運動の仕組みを改め、今よりお金のかからない選挙を実現
- ・討論型民主主義の仕組みなどを用いて地域の意見を政策に直接反映させていくことで、これまで以上に改革志向で、より一層国民のニーズに沿った政策を立案する党改革に尽力

松本いずみ
プロフィール

昭和56年12月1日生まれ（42歳）慶應義塾大学総合政策学部、東京大学法科大学院、ハーバード大学ケネディ行政大学院、ハーバード大学ロースクール修了。平成19年に経済産業省に入省し、経済成長戦略の立案や日EU・EPA交渉など、日本経済の再生に向けて全力で取り組む。令和2年に退官した後は、弁護士として柏市を始めとする地域の皆様の声を一つ一つ聞き、現場の課題解決に取り組んできた。令和6年10月、自由民主党衆議院千葉県第八選挙区支部長に、公募により選ばれる。

比例区は自民党・公明党へ。

Instagram Facebook SNSでも情報発信中

松本いずみ
公式サイト

